

〔 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 〕

短 歌

森の中コンコン音の先見れば

コゲラ踏ん張り食事中

●仙台市 菱沼俊行

宴果てて甲板に出れば漆黒の

水平線に満月上る

●戸田市 宇根鏡子

年金の不足掃除で補填する

笑顔絶やさぬ老女逞し

●印西市 山田 明

露草のスカイブルー色のさわやかさ

可愛い笑顔にほっと癒され

●狛江市 根方一吉

今我の認知予防の支えなり

色あせ初めしペン字の教本は

●東京都神津島村 石田希代子

水瀑やダム放流六分間

夏の宮ヶ瀬歓喜の声が

●平塚市 田中博由

南瓜を煮てはほくほくお八つとし

母の味知る昔なつかし

●福知山市 嶋尾 充

消費税下げれば景気悪くなる

ばかりで仕事しない政治家

●明石市 小田和子

炎天の交通整理暑からう

頭を下げて道路を渡る

●明石市 小田慶喜

声響き満遍水に夏を越え

朝顔ぞ共強く強くと

●南あわじ市 小川千富

雨宿り樋に滴る古民家で

暫し留まり風情を満喫

●香芝市 高田尚昭

君老いし我もまたしかりされど消えぬ

君若かりし名残りのくせ

●佐伯市 下川 健

俳 句

傘立てに破れ補虫網子等帰る

●神戸市 安澤宏介

月涼し庭の手入のすみし宵

●本庄市 入 利雄

草むらの露の大粒小粒かな

●本庄市 長谷川千鶴子

これからも共に生きるや合歓の花

●草加市 長谷部慎子

古稀を越え炎暑を越えて牡鹿月

●戸田市 稲田隆博

着払い故郷の味やほう葉巻

●塩尻市 大家協治

汗だく顔を覆いて川になる

●塩尻市 小野正平

ソーダ水泡ごと弾む観覧車

●塩尻市 清澤美恵子